

2 診察時に興奮傾向にある

性交痛を有する女性への漢方薬の効果

女性医療クリニック LUNA 心斎橋¹⁾

大阪市立大学大学院医学研究科泌尿器病態学²⁾

女性医療クリニック LUNA ネクストステージ³⁾

二宮 典子^{1) 2)}、中村 綾子³⁾、関口 由紀³⁾

仲谷 達也²⁾

【背景】

医療機関を受診する女性性機能障害でもっとも多い主訴は性交痛である。診察時、患者の内診台での反応は個人差が大きく、外性器・内性器とも問題なく診察できる患者もいれば、中には外陰触診で安静を保てない患者や大きな声が思わず出てしまう患者もいる。診察を繰り返していれば慣れることも多いが、性交痛の患者は一般の患者よりも内診に慣れづらく、性交痛の診断においては内診台で診察をきちんと行わないと治療が進まない。また体動が激しいと内診台からの落下などの危険を伴う可能性がある。以上の観点より、なるべく早期に外性器の触診や内診検査に慣れてもらう必要がある。西洋医学的な治療では抗不安薬などが適応になるが、抗不安薬の大部分が性機能を低下させる副作用を有するため安易な投与は避けるべきである。

【目的】

性交痛を主訴に受診し、外性器の診察または内診検査で安静を保てないまたは声をあげて騒いでしまう患者に対し、苓桂朮甘湯合甘麦大棗湯を投与し効果があったので報告する。

【対象・方法】

当院に性交痛を主訴に受診した女性患者のうち、内診台の診察で体動を行ってしまうまたは声をだして騒いでしまう女性3人に対し苓桂朮甘湯合甘麦大棗湯を処方し、その後の経過を評価した。評価は安静度として内診時の発声の大きさ、内診時の体動、患者の緊張度を観察した。さらに患者満足度の評価を行った。

【結果】

患者の平均年齢は29歳。3名全員が内服可能で、すべての患者において内診台での診察時の安静度は改善した。また患者満足度も高かった。

【考察】

苓桂朮甘湯は神経症・ノイローゼに、甘麦大棗湯はひきつけに適応を有する方剤で、どちらも神経興奮の高まった状態を精神的肉体的に緩和させる効果のある漢方と考えられる。性交痛を有する女性は精神的に興奮済みではあるものの衰弱しやすい傾向があり、また診察時の体の緊張も強いことからこれらの処方が有効であった可能性が示唆された。

【結語】

診察時に興奮傾向にある性交痛を有する女性に対し、苓桂朮甘湯合甘麦大棗湯は有効である可能性がある。